学校番号	1009

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	リビングデザイン	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・住まいについて、形のあるモノとしての視点、そこで暮らす人の視点、集合体としての街としての視点で考えていきます。
・知識を身につける活動、アイデアを出して形にする活動、成果を発表して人に伝える活動を組み合わせて授業を行います。小さな失敗を恐れず、積極的に授業に参加して学んでください。

2　学習の到達目標

住生活と文化、住空間の構成と計画、インテリアデザインなどに関する知識と技術を習得させ、平面図を作成し続いて快適な住空間を計画し、デザインする能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	住居の機能、住空間の計画、住環境などの住生活の科学と文化に関心をもち、意欲を持って学習活動に取組んでいる。	住空間の計画、住環境などについて課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し、表現する。	主体的に住生活を営むために必要な、住空間の計画などの技術を身に付ける。	住居の機能、住空間の計画、住環境などついて科学的に理解し、住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付ける。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録の記述 レポート、発表	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録の記述 レポート、発表 定期考査	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録の記述 レポート、発表 作品 定期考査等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録の記述 レポート、発表 定期考査等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
４月・５月	住生活と文化	○住居の変遷と住意識 ・住居の変遷と住意識 ・日本の住居の変遷 ・近代日本の住居 ○気候風土と住居 ・世界の住居 ・日本の住居 ○生活様式と住居 ・現代の住文化 ・起居様式	○	○		○	a:住生活と文化について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 b:住生活と文化の関連から課題を見いだし、その解決をめざして思考している。 d:住生活と文化の関係性を理解し、住生活の改善につながる知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
５月・６月・７月	住空間の構成と計画	○住居の設計 ・住宅を建てるときに関わる法規 ・各室の役割と計画 ・住空間の計画 （人体寸法と動作寸法） ・危険要因と安全性 ・住居の構造と工法 ○インテリア ・インテリアの基本 ・色の基本 ・家具や設備の配置 ＊「配色実習」（白黒イラストへの着色を通して、室内の配色を考える）	○ ○	○ ○	○ ○	○	a:住空間の構成と計画について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 b:住空間を計画する上での課題を見いだし、その解決をめざして思考し、適切な判断を行っている。 c:住空間の構成と計画を行うための技術を身に付けている。 d:住空間の構成と計画について、住生活の改善につながる知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習作品 定期考査
８月・９月	生活環境	○住生活と環境 ・自然環境と住生活 ・社会環境と住生活 ・健康的で快適な室内環境の必要性 ・熱と湿気の環境とその調整 ・光の環境とその調整 ・音の環境とその調整 ・空気の環境とその調整	○	○	○	○	a:住生活と環境について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 b:環境にまつわる住生活の課題を見いだし、その解決をめざして思考し、適切な判断を行っている。 c:快適な住生活を営むために環境面で工夫するための技術を身に付けている。 d:住生活と環境について、住生活の改善につながる知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
１０月・１１月	設計実習	○模型づくり ＊『快適ハウス』（ドールハウスの作成） ・Ｌ・Ｄ・Ｋ の構成を考える。 ・作業動線の配慮 ・インテリアの構成（床、壁、家具、カーテンなど）	○	○	○		a:模型製作に関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 b:実際に形にする上での課題を見いだし、その解決をめざして適切な判断を行っている。 c:模型製作を行うための技術を身に付けている。	授業観察 実習作品 作品レポート プレゼンテーション 定期考査

１１月・１２月	住居の選択と管理	○住居の選択と管理 ・家族周期と住居 ・住居の選択と住情報 ＊「一人暮らしの家を選ぼう」（住宅広告をみて、条件にかなう住まいを探す） ・住居の管理	○	○	○	○	a:住居の選択と管理について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 b:住居の選択と管理にまつわる課題を見いだし、その解決をめざして思考し、適切な判断を行っている。 c:住居の選択と管理を行うための技術を身に付けている。 d:住居の選択と管理について、住生活の改善につながる知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習レポート 定期考査
１月	これからの住生活	○住宅にまつわる諸問題 ・日本の住宅問題 ・家族の形態と住まい ・防災と住まい	○	○		○	a:住宅にまつわる諸問題について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 b:住宅にまつわる課題を見いだし、その解決をめざして思考している。 d:住宅にまつわる諸問題について、住生活の改善につながる知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：技能　d：知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。